

消費者だより

役員・理事からのメッセージ

(赤寄 孝子)

警察や金融機関を装った偽りのメールによる被害が後を絶ちません。私も不審な電話や身に覚えのないメールを受け取った事もあり、決して他人事ではないと感じます。詐欺手口は巧妙です。

「自分は大丈夫」と思っているつもりでも冷静な判断が難しい場合があります。被害を防ぐ為にはその場で判断せず、家族や周囲の人に相談することが大切です。また日頃から公共機関や警察の情報に目を通し、最新の手法を知っておくことも重要だと思います。一人ひとりが防犯意識を高め地域全体で声をかけながら詐欺被害を防いでいきたいものです。私も最近携帯電話に【詐欺バスター】のアプリを入れたり、固定電話の解約など、小さなことですが身を守るために行動しています。

活動紹介 ①

定期総会を開催しました

令和8年4月23日(木)に、第56回定期総会を開催しました。会長挨拶の後、議事に移り、令和7年度事業報告、収支決算報告、事業運営基金報告が承認され、令和8年度事業計画案、収支予算案、役員の選任についても承認されました。今年の総会では、事業報告と合わせてその活動の様態をプロジェクターで紹介しました。

講演会では、「特殊詐欺の被害に遭わないために」のテーマで敦賀警察署生活安全課の方からお話を伺いました。最近はSNSやLENE



などを使った詐欺が多く、20～50代の被害も増えている。その手口は、ビデオ通話に誘導し、制服を着た偽の警察官が警察手帳や逮捕状を見せて信じ込ませるもの。しかし警察がSNSなどで、逮捕状や警察手帳を見せたりすることは絶対にないので騙されないでとのこと。

講演後は、固定電話の国際電話詐欺をブロックする手続きや、スマートフォンに特殊詐欺などの迷惑電話をブロックする「詐欺バスターLite」アプリを登録しました。



消費者フォーラムに参加して

5月31日(日)、消費者月間に合わせた恒例イベント「いきいき消費者フォーラムin2026」が、福井市アオッサで開催された。

今回のテーマは「見える情報 見えない仕組み～AI時代の消費者力を高めるために～」で、ステージ発表には3組が登壇し、勝山市消費者団体協議会が「歌って撃退!!悪質商法替え歌」を元気いっぱいの歌声で披露し、福井南高等学校と(株)松川レピヤンの会社が



それぞれの取り組みを紹介した。午後から「ひとごとではない金融トラブル問題」と題して弁護士八代英輝氏の講演があった。福井県内の特殊詐欺は、オレオレ詐欺が最も多く、次いで架空請求、SNS型ロマンス詐欺と大手電力会社を名乗る点検詐欺など。私たちも、いつ巻き込まれるかわからない。画面に表示される番号は絶対信用しない事。一度電話を切り警察署にかけ直すなどの対応をするようにとの事。詐欺にひっかかるのは金融教育を受けていない大人達で、大人こそお金の勉強をすべきである。クイズも交えながら詐欺の手口と対策について分かりやすく話をされた。自分はだまされないという意識を持たず、自分事として捉えてほしいと言われた。大切な自分の財産を奪われない為に油断せず気をつけていきたいと思う。



当会の展示から

私達は、グリーンコンシューマー啓発活動の実践として、パネル展示とグリーンコンシューマーの買い物10原則の中から5つのクイズを提供させてもらいました。44名の方に挑戦してもらい、皆さん「難しい!」「考えてなかったわ!」「これ当たり前やん!」などと言いながら問題を解いておられました。私もいろんなブースを回り、クーリングオフ、食品ロス、ものを大切にするなど思い返ししながら、再度学びました。



活動紹介 ②

きらめきフェスティバルに参加して

6月20日(土)、福井県生活学習館(ユー・アイふくい)において、“ふくいきらめきフェスティバル2026”が開催され、敦賀からは各団体の21名が参加しました。オープニングは、よさこいサークル「福井大学よっしゃこい」のメンバーが、舞台をところ狭しと元気いっぱいのダンスに心も和みました。



記念講演は、“マチズモ(男性優位主義)を削り取るためには”と題して、ライター・ラジオパーソナリティの武田砂鉄氏による講演がありました。



武田氏は、私たちが日々感じる「何となくの違和感」や「息苦しさ」の正体をマチズモの視点から具体的な事例を挙げながらの話に知らないことや私たちの日常生活も例えばクーラーの適温が男女で違ったりとあらゆるジェンダー問題が潜んでいる事を知りました。生活の中で、ひとつひとつを大事に考えていく事、お互いの生き方を認め尊重する事を大切にしたいと思います。

また、各種講座では「夢を叶える」「省塩でおいしい!時短料理」など、受けてみたい講座がいくつかありました。

私たちは、映画上演「今日も嫌がらせ弁当」を鑑賞しました。夫を早くに亡くし娘2人を育てるシングルマザーの日常生活を描いた物語です。反抗期の娘は高校生1年生、母親との会話はスマホで、一切口を聞かない娘に「あなたが嫌な事をするなら、私も嫌な事をするわよ」と、高校3年間の嫌がらせ弁当作りが始まりました。初めはいいやや弁当も、キャラ弁やメッセージの入りのお弁当は、クラスメートにも楽しみの時間になっていきます。「娘の声を久しぶりに聞いた。」との母親のことばには胸が一杯になりました。お弁当で娘と会話する母親の想いを明るく爽やかに描かれており、家族も人とのつながりも色々あることを再認識する機会になりました。

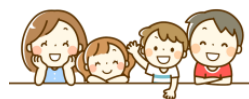


最後に、フェスティバルに参加して得たものを、今後の活動の中で生かして行ければと思いました。

インフォメーション

○ 児童クラブへの出前教室

・開催時期：7月～8月
(3回予定)



・内容：わかりやすいプログラムで、子どもたちと一緒に消費者や環境について学びます。

☆紙芝居

「たべものかいじゅうあらわる!？」

☆お買い物体験

「家族がよろこぶお弁当を作ろう!」

令和7年度の出前教室模様



○ 会員を募集しています

- ・あなたの周りに、消協の活動に関心のある方はいらっしゃいませんか? 消協では「賢い消費者になろう」を合言葉に、研修、勉強会、啓発活動を行っています。
- ・私達の生活に役立つことを、一緒に学び実践しましょう。ご友人もお誘いいただき是非ご加入ください。

○ 体と環境に優しい石鹼利用を推奨しています。

- ・お問い合わせは以下までお願いします。
☎ 藤井 真理子 ☎ 090-5179-2056

編集後記

県内、令和7年度特殊詐欺被害額は、約14億4千万円で、前年度の2倍となっています。警察や報道が注意喚起していても増える一方です。また、ナフサ不足でその由来製品が少なくなり、この先の見通しが立たない状況です。気になる事ばかりです。今この暑さの中、熱中症が増加してきています。休息と水分をこまめにとり、好きなものも食べてこの暑さを乗りきりましょう。

